

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	◎	通信会社（役員）	来客数の動き	・携帯電話のキャリアショップの運営では、春商戦に加えて、特定キャリアの3Gサービス終了に伴う買換え需要が重なった。その結果、来客数、成約数共に、例年を上回る実績で推移している。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・春休みに入って、昼間の人出が多くなっている。ただし、売上の増加には余り結び付いていない。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	来客数の動き	・国内需要は伸び悩んでいるが、3月に入ってインバウンド需要が好調となり、国内需要の悪化を十分にカバーしている。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・人の動きが良くなり、販売量も少し増えている。
	○	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・店全体としては、3月25日現在で来客数が前年比3.0%減で、売上は3.7%増となった。1人当たりの販売量が伸びて、買上単価が上昇している。食料品の売上も、25日までで8.4%増と好調を維持しており、当面はこの傾向が続くと予想される。
	○	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・中国の渡航自粛により、前月の免税売上は非常に厳しかったが、3月に入り回復傾向となっている。前月の中国のインバウンドによる免税売上は、前年の3分の2程度であったが、今月は前年比での減少率は1けたにとどまる。一方、中国以外の免税売上は大きく増加しているほか、国内売上も外商、それ以外共に前年を上回り、堅調に推移している。
	○	百貨店（広報担当）	販売量の動き	・比較的安定した気温により、春物ファッションが好調に推移し、国内客の売上は前年を上回る見込みである。インバウンドについては、中国からの動きが引き続き低調である一方、円安傾向も背景に、富裕層や中国以外のインバウンドが堅調で、前月比ではやや回復している。
	○	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月もイベントや催事、食料品フロアのリニューアル効果によって好調に推移している。また、中国からのインバウンドが減少するなかで、国内客の売上は前年比で増加している。
	○	百貨店（販売推進担当）	販売量の動き	・月初めから暖かい日が続き、例年苦戦していた春物衣料品が今年は好調である。インバウンド売上も前年の実績を確保できたほか、食料品部門でも週替わりの期間限定店の導入で、来客数の増加につながり、店全体でも前年の売上を確保できている。
	○	スーパー（店員）	お客様の様子	・お彼岸は天候も良かったため、墓花がよく売れたほか、果物もよく売れた。野菜の価格も、春野菜が出て少し下がってきたため、売れている。
	○	スーパー（社員）	単価の動き	・競合店の出店で、来客数が前年を下回っている店舗は多い。それでも単価の上昇が続いているため、堅調な売上につながっている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・レジの全面セルフ化などにより、客を待たせない体制を整え、効率化を図る。商品に関しては価格が比較的安い冷凍食品を多く置き、売上の増加を狙う。
	○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・観光客はいつも多いが、3月中旬頃からは団体での観光客がかなり増えており、家族客と若年層のどちらも多くなっている。
	○	家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・コロナ禍で動きが抑制されていた新生活需要が回復してきた。遠方への進学や就職の動きが戻り、新生活に必要な小型冷蔵庫や洗濯機がよく動いている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・景気が良いとは判断できないが、販売量は少しずつ増えている。中東の海峡問題によるガソリン価格の高騰といったマイナス面もあるものの、電気自動車に興味を持つ客が増加している。
○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	来客数の動き	・天候も比較的良く、来客数が伸びた。花粉症関連商品の売行きが特に良く、肌のトラブルに対応した基礎化粧品などの売上も伸びている。	

○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月は気候が安定していたため、特にランチタイムの来客数が伸びている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・企業が年度末を迎え、宴会の需要が増えている。加えて、事前予約のない10人未満のグループ利用も多く、来客数は前年を大きく上回っている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・直営店の来客数が増加傾向にあるほか、卸売でも各喫茶店への販売量が伸びている。
○	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・3月は春休みで、来客数が元々多い時期であるが、今年は前年を若干上回るほど好調であった。この時期は団体客ではなく、個人客がほとんどであるが、国内外からの多くの客で賑わった。天候が安定していたこともプラス要因となっている。
○	都市型ホテル (客室担当)	販売量の動き	・利用客の外国人比率をみると、以前よりもインバウンド需要が増加傾向にある。中国からのインバウンドは減っているが、それを補うように台湾や欧米からのインバウンドが急増している。
○	通信会社(社員)	販売量の動き	・米動画配信大手によるWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の放送効果で、加入者が10%程度増加している。
○	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・年度末の繁忙期であり、インターネットサービスの販売は3か月前比で110%となる見込みである。
○	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・購入意欲が高まっている。
□	一般小売店[化粧品] (経営者)	販売量の動き	・3月に入り、ギフト需要と春の新色メイク商材が出てくる時期となり、2月に比べて売上は回復し、前年比で102%となった。ただし、月の前半と中盤は好調に推移したが、土曜日が1日少ない影響もあり、後半は失速している。ギフト需要は伸びたものの、来客数が伸びなかったため、基礎的な商材の売上が鈍化した。材料費の上昇分はまだ価格に反映されておらず、今後は更なる値上げとなるが、この3年間で3割ほど値上げした商材も多く、既に販売への影響が出ている。
□	一般小売店[雑貨] (店長)	お客様の様子	・社会情勢が良くない。
□	一般小売店[呉服] (店員)	単価の動き	・着物の動きは良くなく、自分の振り袖をクリーニングもせずに、娘に着せる人が増えている。
□	一般小売店[書籍] (管理担当)	販売量の動き	・従来と同じ水準で推移している。
□	百貨店(売場マネージャー)	来客数の動き	・免税売上を中心に増加傾向にあるものの、中東情勢による影響などを懸念する声も多く、景況感の大きな変化はみられない。
□	百貨店(外商担当)	販売量の動き	・中国からのインバウンドが減少し、インバウンド売上全体が落ち込んでいる。中東情勢の影響により株価が低下し、富裕層の消費マインドも従来と比べて下がっている。ただし、海外の高級ブランドに対する需要は続いている。
□	百貨店(マネージャー)	来客数の動き	・12月以降、売上、来客数共に好調であり、3月の来客数は前年比で4.0%増と、12月の増加率を上回る推移となっている。ただし、前年の3月は食品売場の改装工事で売上が減少していたこともあり、実質的に大きな変化はない。
□	百貨店(外商担当)	お客様の様子	・イラン情勢や日中関係の変化など、外部環境による影響が懸念されるが、富裕層の動きは堅調なままで安定している。
□	百貨店(営業推進担当)	来客数の動き	・前年の秋以降、来客数は増加傾向にあり、食料品は良い動きとなっている。
□	百貨店(販促担当)	販売量の動き	・春らしい気候となり、ファッション関連の動きは堅調となっているほか、ホワイトデーやひな祭り、卒業等に伴う需要も好調に推移している。株価が不安定なため、富裕層の一部に慎重さがみられるものの、大きな影響は出ていない。

<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	お客様の様子	・海外情勢の変化や、資材価格や物価の上昇、為替や株価の変動による影響があると推察される。3月は前半が好調で、後半は不調という両極端な動きとなったため、景気を判断しにくい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	お客様の様子	・国際情勢が不透明ななか、株価の低迷で消費者心理が悪化している。ただし、直近はインバウンド売上が回復傾向にあり、根本的な改善ではないものの、売上の前年比はプラスで推移している。催事場の物産展についても好調に推移している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	来客数の動き	・引き続きインバウンドの来客数が減っているほか、様々な商品の価格改定があり、国内客の消費も落ち込んでいる。特に、金やプラチナといった地金の価格上昇により、一部の投機要素の強いブランドを除き、中間価格帯の宝飾アクセサリや時計の販売が苦戦している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・中間層の様子をみると、節約志向による選択消費の動きは変わらない。時期的なイベント消費などは好調であるが、消耗品はコストパフォーマンスを意識した行動が目立つ。一方、富裕層は宝飾、時計を中心に得意客向けイベントが好調に推移している。免税売上は地域的な恩恵もあって増えているが、全体では微増にとどまる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は安定しており、大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・現状、景気の実感は余り良くなく、前年比での動きも良くない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・生活必需品の購入が中心のため、大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、大きな変動はない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店員）	単価の動き	・物価上昇の影響で、早々にセール品を出すなどして、何とか売上目標が達成できている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・中東情勢がどうなるか不透明である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・年度末の活気はなく、販売も限定的である。自動車税の環境性能割廃止を前に、買い控えが発生している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車税の環境性能割の廃止を前に、3月の登録は減少しているが、4月に持ち越しているだけであり、景気自体に変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	お客様の様子	・物価の上昇により、消費者の関心が宝飾品の方に向いていないのは明らかである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	販売量の動き	・気温の上昇に伴い、医薬品や健康食品は低調に推移したが、カウンセリング化粧品や化粧品雑貨の動きは顕著に上向している。食品や日配品などの生活必需品も順調に推移しており、3か月前と比較して買上点数に大きな変化はないが、客単価や商品単価は上昇している。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	販売量の動き	・中東情勢の問題で、使い捨てグローブの注文が殺到することを予想し、購入制限を設けているが、それほど注文は入っていない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・全体的な来客数は大きく変わらないが、春ということで、祝いの食事会が多い。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [洋菓子]（管理担当）	来客数の動き	・全店の傾向としては、売上は前年を上回っている。ただし、当店は駅前の動線の変化により、前年比で90%という水準であり、この状況は5月まで続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・中東情勢の問題による影響はみられない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	お客様の様子	・政策が実を結んでいるかどうかは判断しにくい。まだこれからではあるものの、今のところは余り実感できていない。

□	タクシー運転手	単価の動き	・例年、年度末は売上が増えるが、今年に入って全ての商品で値上げが進んでいるため、所得の増加が追いついておらず、夜間のタクシー利用率が低下している。
□	通信会社〔貴金属オークション〕（経営者）	販売量の動き	・最近のイラン情勢の変化で、中国に対する売行きが鈍化している。オークション事業の動きもそれに連動する形となり、3か月前比で業績は横ばいとなっている。
□	テーマパーク（職員）	単価の動き	・せっかくガソリン価格が下がったところに、予期せぬ事態で再び価格が高騰している。中東情勢の問題が長期化すれば、夏の電力供給にも大きな影響が出る。
□	競艇場（職員）	販売量の動き	・前月よりも伸び幅は縮小しているが、インターネット投票の売上が拡大し、前年比で6%前後の伸びとなっている。一方、単価は大きく変わっていない。
▲	商店街（経営者）	販売量の動き	・閉店する店が増えている。
▲	一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・前月末頃から消費者の買い控えが目立ち、販売量が減っている。来客数も減少傾向にあるなど、景気の悪化傾向が高まっている。
▲	百貨店（売場統括）	お客様の様子	・前年は実施していなかった特典の販売促進効果により、免税売上は前年比で2けた増となった。一方、年明け以降は前年を上回っていた国内現金客の売上が減少に転じた。これまで堅調に推移してきた外商売上也減少しており、3か月前と比べて景気は全体的にやや悪化している。
▲	スーパー（経営者）	単価の動き	・燃料代や物価の上昇で、客の低価格志向が強まっている。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数は悪くないが、物価上昇の一方で客単価は下がっているなど、客が価格の安い商品を買っている可能性がある。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品価格の上昇とともに、ガソリン価格の高騰が買い控えに影響を及ぼしている。
▲	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・商品価格の値上げによる影響のほか、米価格の低下予想などで買い控えが発生している。消費者の購入意欲が高まらず、買上点数、売上共に厳しい状況にある。
▲	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・中東情勢の変化による影響で、ガソリンや公共料金などの値上げがこれまで以上に大きくなると、消費者が意識している。食費に回せる予算が減少するため、売上の確保が難しくなる。
▲	スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・以前から来客数と販売量の苦戦が続いていたが、イラン情勢の変化による物価の上昇や、紛争の長期化懸念による生活防衛意識の高まりで、財布のひもがより一層固くなっている。コストの増加による販売価格の上昇で、売上は前年を上回っているが、来客数と販売量の落ち込みがその効果を打ち消している。
▲	スーパー（企画）	お客様の様子	・チラシの掲載商品でも、割安感の高い商品への反応が強いなど、財布のひもは固い。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・インバウンドが減っているほか、インフレで商品価格も上昇している。
▲	コンビニ（店員）	お客様の様子	・相次ぐ値上げの影響で、1日の食事を全てコンビニで購入する客がやや減少している。スーパーで買物をした後に、家から近いコンビニで、重たい商品を買って足す客もみられる。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・前年や3か月前と比べて、単価は少し低下し、来客数は大幅に減少している。
▲	家電量販店（店員）	お客様の様子	・中東情勢の問題で物価の上昇や燃料費の高騰が進み、客の購買意欲の低下や景気の後退につながっている。少しでも安価な物を、必要最低限だけ購入する動きが目立つなど、景気は悪化傾向にある。
▲	家電量販店（営業担当）	それ以外	・業務で自動車を使うため、原油価格の高騰は利益の圧迫に直結する。
▲	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・原油価格の高騰や物価の上昇で、消費が本当に冷え込んでおり、価格の安い商品を探して購入する客が多い。

▲	乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・今月は売上目標を下回る見込みである。例年3月は新車の販売台数が多いが、今年は平常月よりも少なく、厳しい状況にある。自動車税の環境性能割の廃止前という事情もあるが、それだけではなく、新車への買換え需要自体が減少している。中古車の販売台数は好調を維持しているため、価格上昇の影響もある。
▲	その他専門店 〔食品〕(経営者)	販売量の動き	・値上げの影響で販売量が落ちている。インバウンド消費はみられるものの、一部の地域に限られており、売上全体を支えるほどではない。
▲	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕(経理担当)	それ以外	・中東情勢の変化が、今後の景気に影響を及ぼすとみられる。既に重油などが不足し、工場や病院、宿泊施設などのボイラーを使用する施設では、円滑な調達ができなくなっている。今後は工場等の操業停止のほか、物流コストの高騰、商品価格の改定などによる、物価の上昇が予想される。
▲	一般レストラン (店主)	それ以外	・これまでの物価上昇に加え、原材料価格やガソリン価格の上昇もあり、客の動きにもかなり影響が出ている。
▲	一般レストラン (企画)	販売量の動き	・売上の前年比は105%を維持しており、前月とほぼ同水準で推移しているが、3～4か月前と比べると失速している。
▲	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・予約の入込が悪くなっている。
▲	都市型ホテル (客室担当)	販売量の動き	・中東情勢の変化により、稼働率が下がり気味である。中国からのインバウンドが減少する懸念から脱したものの、厳しい状況にある。
▲	都市型ホテル (客室担当)	来客数の動き	・来客数は増加しているが、販売価格が伸び悩み、前年を下回る状況である。物価の上昇に伴って経費が増え、利益を圧迫している。
▲	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・国内客が海外旅行を控える傾向にある。
▲	旅行代理店(役員)	来客数の動き	・イラン情勢の変化により、欧州ツアーの催行が中止となるなど、海外旅行の受注に影響が出ている。また、国内旅行の受注件数についても、前年比で約7割となっている。
▲	旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・イラン情勢の変化による原油価格の上昇や、そこから派生する物価上昇により、客の旅行マインドが完全に守りに入っている。例年はゴールデンウィークに必ず旅行する客も、今年はやめておくといった姿勢になっている。
▲	通信会社(経営者)	お客様の様子	・原油価格や原材料価格の高騰により、利益が圧迫されている。
▲	競輪場(職員)	単価の動き	・今月の客単価は8115円と、3か月前の8190円を下回っている。
▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕(企画担当)	お客様の様子	・3か月前と比べると、インバウンドの多いスキー場の営業が終わり、来客数は減少する傾向にあるが、景気そのものに変化はない。
▲	美容室(店員)	来客数の動き	・客の来店周期が長くなっている。
▲	その他サービス〔学習塾〕(スタッフ)	お客様の様子	・例年と比べて、急な退会者が増えている。
▲	住宅販売会社(経営者)	単価の動き	・資材価格の高騰が再び始まっている。
▲	住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・郊外の新築分譲マンションと都心部の中古マンションで、それぞれ2億円を超える物件の動きが鈍化している。
▲	住宅販売会社(企画担当)	それ以外	・世界情勢が不安定ななか、物価の上昇で顧客心理も慎重になっている。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕(経営者)	それ以外	・賃金の増加を物価の上昇が上回っているほか、世界情勢の不安定化が響いている。

	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン金利の上昇傾向に加え、最近の中東情勢の変化による原油価格の上昇やインフレの影響もあり、住宅購入に対する姿勢がやや慎重化している。
	▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	単価の動き	・ガソリン価格の高騰がとにかく厳しい。当社は作業員1人で自動車1台を利用しており、月間250リットルを購入するため、1リットル当たり190円を超えた際などには、先行きの不安が高まる。
	▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・中東情勢の変化で原油価格が高騰し、物価や建築コストの更なる上昇が顕在化している。不動産の購入検討客が慎重な姿勢を強めているほか、金利も上昇する見込みのため、実需物件の動きも鈍い。
	×	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・天候不順の影響か、3月に入って急速に客足が遠のいたが、やはり世界情勢の不安定化による影響は大きい。連日の報道で、他人事ではない危機感があるほか、新年度に向けた期待感も全くなく、世の中が冷え込んでいる。月次の様々な数字とともに、気力も落ち込んでいる。
	×	一般小売店〔野菜〕（店長）	販売量の動き	・物価が上昇しているため、客が商品価格に敏感になり、安い商品は購入するが、定価の商品には買い控えがみられる。
	×	一般小売店〔ガラス細工〕（店長）	お客様の様子	・購買意欲がみられない。
	×	百貨店（管理担当）	お客様の様子	・各階での改装工事の影響で、来客数が減少しており、売上も前年比で2けた減となっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・高齢者が洋服を買わなくなっている。出掛ける場所がないこともあるが、生活費の負担が増え、洋服にまでお金が回っていない。
	×	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・創業100周年記念セールを開催しているが、単価の高い商品の動きが悪く、目玉商品の低価格品の動きが良いため、幾ら売っても売上が上がらない。
	×	家電量販店（店員）	お客様の様子	・以前は、買換えの動きがよくみられたが、できる限り修理で対応する傾向が強くなってきた。明らかに節電効果が見込めるエアコンなどでも、買換えずに使い続ける傾向がある。購入後に必要な費用よりも、初期投資の費用の方がやはり高額であるため、支出を抑える傾向が強くなっている。
	×	住関連専門店（店長）	単価の動き	・コストの上昇で仕入金額がどんどん上がっているため、販売価格も上げざるを得ない。
	×	その他小売〔ネット通販〕（管理担当）	単価の動き	・中東問題の長期化によって、原油価格などの上昇が懸念される。
	×	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・中東情勢の影響で国際線の欠航が長引き、ツアーの中止が続いているため、先行きが不透明である。
	×	観光名所（企画担当）	来客数の動き	・大阪・関西万博の開催の反動による減少のほか、中国圏からのインバウンドの減少で来場者が減少している。
企業動向関連 (近畿)	◎	*	*	*
	○	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・現状は市場の動きが良い。
	○	輸送用機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加している。
	○	金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・繁忙期で好調となっているが、一定期間で平均すれば、売上は横ばいである。
	□	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の混乱による影響は直接出ていない。食品全般の値上げで購買力は低下しているが、当社製品は近所で値上げしていないため、影響が出ていないとみられる。
	□	食料品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・前年比の動きは少し良くなっている。
	□	繊維工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・物価の上昇で消費者の購買意欲が低下している。値引き交渉も当たり前であり、非常に厳しい販売が続いている。

□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・包装用の板紙生産量が減っており、全体的な受注量も減少している。
□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に余り変化はないが、年度末の動きが異なる。例年、自動車関連部品は年度末の在庫調整で減産気味となるが、今年は減産もなく、微増状態が続いている。
□	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・景況感は変わらない。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	それ以外	・世界情勢の変化で景気に影響が出ているが、企業ごとに影響の違いがあるほか、一般消費者のレベルでは大きな変化はみられない。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・エアコンの店頭荷動きは前年比で2けた増であるが、洗濯機や冷蔵庫の大型商品の動きは前年を下回っている。
□	建設業（経営者）	取引先の様子	・業績が好調な取引先からは、年度末工事の発注が増えている。監理技術者や技能労務者の不足は続いているが、工事の完了を目指している。
□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・案件の問合せが増えている。イラン情勢の変化で今後は材料費や燃料費の高騰が進むため、予断を許さないが、売上がやや増える状況は続く。
□	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の売上には大きな変化がない。事務手続の混乱や経費の増加もあり、売上が増える状況ではなさそうである。
□	輸送業（サービス担当）	受注量や販売量の動き	・配送収入はほぼ前年並みであり、荷物量も横ばいが続いている。
□	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先との会話では、受注状況は大きく変動していない。
□	金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・中国からのインバウンドが減った一方、他国からの観光客や国内旅行者の消費がその分を補っているため、景気への大きな影響はみられない。
□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・値上げの影響により単価が上がっているにもかかわらず、売上が前年と横ばいで変わっておらず、販売量が減少している。
▲	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・重油価格の上昇や流通量の減少により、生産停止となる可能性が出ている。
▲	化学工業（製造担当）	それ以外	・全体的に研究費や助成金が絞られており、新規テーマの選別に慎重になっているため、研究試薬業界は景気が下向きか、横ばいとなっている。当社としても投資の判断やテーマの選別などが難しく、取りあえず走るよりも、確度を見極める姿勢となっている。
▲	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・期末の在庫調整の動きがみられる。
▲	窯業・土石製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・物価の上昇が続いているところに、イラン情勢の変化で原油価格が高騰し、物価の上昇に歯止めがかからない状況になっている。イラン情勢の不安定化が長引く可能性もある。
▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・これまでの物価上昇に加え、原油価格の高騰が予想されるため、高額な設備投資を控える動きが顕著である。
▲	金融業〔保険〕（経営者）	競争相手の様子	・原価の上昇に加え、原油価格の高騰に伴う更なる物価の上昇で、景気が冷え込む不安が高まっている。財布のひもが固くなっており、イベントへの集客はできても、売上への効果は限定的であり、継続的な消費の増加にはつながっていない。
▲	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年3月には期末広告の出稿があるが、今年は減少している。
▲	経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先の小売業や飲食業では、中東情勢の影響による仕入価格や物価の上昇を警戒しており、積極的な仕入れや販売促進策を行わなくなっている。
▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・駅ナカでは、飲食店は堅調に推移しているものの、物販はやや低調となっている。飲食店の堅調な動きは、インバウンドの利用が影響している。

	▲	その他サービス業 [受託調査] (調査担当)	それ以外	・3か月前は、販売量は計画どおりであったが、単価が上げられず、利益が圧迫されていた。値上げを行わなければ利益が減っていくため、思い切って販売単価を平均で1~2割引上げた結果、販売量は前年比で約2割の減少となり、業況はかえって悪くなっている。
	×	化学工業 (管理担当)	それ以外	・中東の海峡問題による影響が出ている。
	×	不動産業 (営業担当)	取引先の様子	・中東情勢の影響を受けて、景気が悪くなっている。飲食店や物販店による出店意欲が下がり、空室率が上がっていることで、景気が悪化している。
	×	その他非製造業 [電気業] (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・中東情勢の変化で原油価格が高騰している。
雇用関連 (近畿)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (支店長)	採用者数の動き	・例年ほどではないものの、採用数が増えている。
	○	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・賃金のベースアップと連動して、事務職の派遣社員の賃金を改定する企業が増加傾向にある。
	○	民間職業紹介機関 (営業担当)	それ以外	・3月は2027年卒採用の広報解禁時期であるが、2027年卒採用は実質的に早期選考が始まっており、活動はピークを過ぎている。同時に2028年卒採用のインターンシップの広報も始まっており、それに向けたメディア掲載やイベント出展の申込みは前年よりも少し増えている。また、インターンシップの開催回数も増えている。
	○	民間職業紹介機関 (営業担当)	求人数の動き	・時期的に最大の繁忙期を迎えているため、求人、求職者共に増えている。
	□	人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・中東情勢は不透明であるが、求人や求職者の動きへの影響はみられない。
	□	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・年度末の駆け込み需要が鈍く、特に広告や宣伝プロモーションでは、例年のような盛り上がりには欠ける。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・求人の減少傾向が続いている。原材料費や人件費の上昇が、中小企業を中心に利益の圧迫につながっている。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・求人数は、依然として3か月前と同水準で推移している。ただし、求人企業からは国際情勢に対する懸念の声が出始めており、今後、注意が必要である。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・3月の求人数は前年並みで推移しており、景気の大きな変化はみられない。
	□	学校 [大学] (就職担当)	採用者数の動き	・この1年間、新卒求人は順調に推移してきた。問題点は、医療福祉業界で異業種を含む転職が増えていることであり、賃金の格差が主な要因とみられる。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・イラン情勢の変化による具体的な影響はみられないが、事業主からは、4~5月にはプラスチック製品の原材料の仕入れが止まることに対して懸念の声がある。
	▲	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・原油価格の上昇による、景気への影響が気になる。
	▲	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・4月の新入社員の入社が近づき、派遣の求人数が減っている。
	▲	新聞社 [求人広告] (営業担当)	それ以外	・イラン情勢が安定せず、日本だけでなく、世界的に景気が悪くなっている。
	▲	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・3月は管轄地域内での求人数が非常に少なくなっており、新年度の求人に期待している。
	▲	学校 [大学] (就職担当)	それ以外	・物価の上昇が食料品などの身近な商品に広がっており、生活困窮者が増えている。また、原油が国内に安定して入ってくるか否かが見通せない。
	▲	学校 [大学] (就職担当)	それ以外	・賃金の改善が物価の上昇に追い付いていない。
	×	—	—	—